

平成22年5月10日

各 位

マネックスグループ株式会社
代表取締役社長 CEO 松本 大
(コード番号 8698 東証第一部)

本日、当社の子会社であるマネックス証券株式会社(代表取締役社長 CEO 松本 大)が下記プレスリリースを行いましたので、お知らせいたします。

記

マネックス証券株式会社 プレスリリース (添付)

マネックス証券専用ファンド「マネックス資産設計ファンド エボリューション」
新規募集開始のお知らせ

以 上

【お問合せ先】

マネックスグループ株式会社

社長室 コーポレートコミュニケーション担当 久保田 電話 03-6212-3750

マネックス証券株式会社

マーケティング部 PR担当 福井 電話 03-6212-3800

平成22年5月10日

各 位

マ ネ ッ ク ス 証 券 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 C E O 松 本 大

マネックス証券専用ファンド「マネックス資産設計ファンド エボリューション」

新規募集開始のお知らせ

マネックス証券株式会社（代表取締役社長 CEO 松本 大、以下「マネックス証券」）は、下記の通りマネックス証券専用ファンドとなる「マネックス資産設計ファンド エボリューション」（以下「当ファンド」）の新規募集を開始いたしますのでお知らせいたします。当ファンドは、マネックス証券がD I A Mアセットマネジメント株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 中島 敬雄、以下「D I A M」）と設計・開発したものです。

記

1. 当ファンドの概要

当ファンドは、投資初心者ターゲットとして開発し、2007年1月の設定以来ご好評をいただいている「マネックス資産設計ファンド」の第2弾です。当ファンドは、中長期の資産形成に資する商品として、投資の中・上級者向けに設計されています。国内資産に偏らないグローバルな視点からのアセットアロケーションの採用により、従来商品に比べリスク・リターンを高めに設定した分散投資ファンドです。

2. 当ファンドの特長

- (1) 世界の株式・債券・REITを投資対象とし、国内資産に偏らないグローバルな視点から資産配分比率を決定します。（基本資産配分の策定にあたってはイボットソン・アソシエイト・ジャパン株式会社による助言を受けます。）
- (2) 先進国よりも高い経済成長が見込まれる新興国の資産のリスク・リターン特性に着目し新興国株式・債券を組み入れます。
- (3) 基本ポートフォリオは日本株インデックス投信と同程度（※）のリスク水準としながらも、新興国資産を組み入れた分散効果により効率の良い運用を目指します。
- (4) 年金資産運用をはじめとするアセットアロケーション運用において経験豊富なD I A Mによる機動的な運用で、基本ポートフォリオからの収益“+ α ”の獲得およびリスクの管理を行います。
- (5) ノーロード（申込手数料無料）かつ1.05%（税込）の格安な信託報酬でご提供します。

※過去約30年間（1980年～2009年）の日経平均株価の標準偏差は概ね年率20%程度です。

3. マネックス証券でのお取扱いについて

当初募集期間：	2010年5月10日（月）～5月26日（水）
当初申込価格：	1口あたり1円
信託期間：	2010年5月28日（当初設定日）～2020年1月14日
運用会社：	D I AMアセットマネジメント株式会社
申込手数料：	無料（ノーロード）
申込単位：	1,000円以上1円単位

詳細はマネックス証券ウェブサイト（<http://www.monex.co.jp/>）をご覧ください。

《ご参考》

イボットソン・アソシエイツについて：

●当ファンドの資産配分の助言を行うイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社は、資産配分専門のコンサルティング会社イボットソン・アソシエイツの日本法人です。イボットソン・アソシエイツは、長期の投資収益率データをもとにした分散投資効果の実証研究の先駆者であるロジャー・イボットソン（イェール大学経営大学院教授）が1977年に米国シカゴに設立しました。投資収益率のデータベースや、期待リターン・リスク推計、モデル・ポートフォリオ策定などの分野で日米をはじめ世界中の多くの資産運用機関や金融機関から高い評価を得ています。

●運用・助言契約の顧客数：約100社（金融機関や年金等）

運用・助言契約の資産残高：約541億ドル（ファンド・オブ・ファンズや401k等）
（いずれも2009年12月末時点）

【留意事項】

お申込みの際は、以下のことにご留意くださいますようお願い申し上げます。

当ファンドのリスクについて	
<p>当ファンドは、主に国内外の株式、債券、不動産投資信託証券、投資対象市場に関連する株価指数先物および債券先物を実質的な投資対象としますので、組入株式、債券、不動産投資信託証券の価格の下落や、組入有価証券（指数）先物の市場相場の変動、組入株式、債券、不動産投資信託証券の発行者の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。</p> <p>したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。</p> <p>当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「資産配分リスク」、「株価変動リスク」、「金利リスク」、「不動産投資信託（REIT）の価格変動リスク」、「為替リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」、「カントリーリスク」や「有価証券（指数）先物取引の利用に伴うリスク」などがあります。</p> <p>※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）本文の「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 3 投資リスク」をご覧ください。</p>	
当ファンドの手数料等について	
申込手数料（税込）	ありません
解約手数料（税込）	ありません
信託財産留保額（解約時の直接的な負担費用）	約定日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じて得た額
信託報酬（保有期間中の間接的な負担費用）	信託財産の純資産総額に年 1.05%(税抜 1.0%)の率を乗じて得た額
<p>※上記以外にも保有期間中に間接的にご負担いただく費用があります。</p> <p>※上記ファンドに係る手数料（費用）の合計額については、申込金額、保有期間等の各条件により異なりますので、表示することができません。</p>	
その他留意事項	
<p>お申込み／ご購入にあたっては「目論見書」、「目論見書補完書面」をご覧ください、取引の仕組みやリスク・手数料等についてご確認ください。</p>	
マネックス証券株式会社について	
商号等	マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号
加入協会	日本証券業協会、(社)金融先物取引業協会
DIAMアセットマネジメント株式会社について	
商号等	DIAMアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 324 号
加入協会	(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

以上